

国語科学習指導案

江田島市立大古小学校 教諭 黒小 大介

- 1 日時 平成22年12月15日（木） 第3校時
- 2 学年 第4学年 男子19名 女子21名 計40名
- 3 単元名 目的や必要に応じて要約する力を高める
～お気に入りの本を紹介する広告カード（ポップ）を作ろう～
教材文「夏のわすれもの」（東京書籍 4年上 平成17年度版）

4 単元について

(1) 単元観

本単元は、小学校学習指導要領国語（平成20年）における第3学年及び第4学年の「C読むこと」の指導事項エ「目的や必要に応じて、文章の要点や細かい点に注意しながら読み、文章などを引用したり要約したりすること。」を受けて設定した。紹介したい本の広告カード（ポップ）を作ることを目的として、文章の構成に即しながら登場人物の言動や心情、出来事を示す言葉や文を活用して短くまとめることをねらいとする。

本教材文「夏のわすれもの」は、おじいちゃんの突然の死をなかなか実感できない主人公まさるが、その死を受け止め、前向きに生きようとするまでの姿を描いた物語である。まさるの心情が出来事を通して変化する物語の構成となっていることから、文章の構成に即しながら登場人物の言動や心情、出来事を示す言葉や文を活用して要約する学習に適している教材であると考ええる。

(2) 児童観

本学級の児童は、これまでも本の内容を要約して紹介するなどの学習は行ってきた。しかし、これまでの学習において、要約する目的が明確でなかったために、児童の多くは、要約することに必要な文や言葉、文章全体の構成が十分とらえることができず、そのため、思いつくままの言葉を使って長くまとまりのない要約文を書いていた。

(3) 指導観

本単元では、目的や必要に応じて、文章の構成に即しながら登場人物の言動や心情、出来事を示す言葉や文を活用して短くまとめることができるようにするため、次の2点に留意する。

1点目は、単元の指導計画を工夫することである。単元全体を貫く言語活動として、「C読むこと」の言語活動例「エ紹介したい本を取り上げて説明すること。」を具体化した言語活動、「低学年の子どもたちに向けて本を紹介すること」を設定する。これによって、読む目的が明確になり、目的に応じた要約ができるようになると考える。

2点目は、教材文の内容をマップに表す活動を取り入れることである。マップとは、文章の構成に即して、登場人物の行動や会話、それから分かる性格や心情、登場人物の相互関係、出来事等を簡潔に書いて、文章の内容が一目でわかるようにまとめたものである。このマップを活用することで、要約に必要な登場人物の言動や心情、出来事を示す言葉や文をとらえることができるとともに、文章の全体の構成に即して要約することができると思う。

5 単元の目標

- 紹介したい本について要約することに関心を持ち、本を繰り返し読もうとする。

【国語への関心・意欲・態度】

- ◎ 広告カード（ポップ）を作るという目的に応じて、文章の構成に即しながら、登場人物の言動や

心情，出来事を表す言葉や文を活用して短くまとめることができる。

【Ｃ読むことエ】

- 指示語や接続語が文と文との意味のつながりに果たす役割を理解し使うことができる。

【伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項イ(ク)】

6 単元の評価規準

国語への関心・意欲・態度	読む能力	言語に関する知識・理解・技能
言語活動例「エ紹介したい本を取り上げて説明すること。」		
○紹介したい本について要約することに関心を持ち、本を繰り返し読もうとしている。	◎広告カード（ポップ）を作るという目的に応じて，文章の構成に即しながら，登場人物の言動や心情，出来事を示す言葉や文を活用して物語を短くまとめている。	○指示語や接続語が文と文との意味のつながりに果たす役割を理解し使っている。

7 指導と評価の計画(全6時間)

時	学習内容	評 価				
		関	読	言	評価規準	評価方法
1	○単元のめあて，学習計画を知る。 ○要約するための方法として，文章の内容をマップに表す活動があることを知る。 ○教材文「夏のわすれもの」を通読し，語句の確認をする。	◎		○	◎要約することに関心をもっている。 ○新出漢字，難語句について理解している。	ノート
2	○教材文「夏のわすれもの」を通読し，文章の中心となる出来事や人物の描写に注意しながら読み，文章の内容をとらえる。		◎		◎文章の構成に即しながら登場人物の言動や心情，出来事等を示す言葉や文を活用して，教材文「夏のわすれもの」の内容をマップにまとめている。	ワークシート(マップ)
3	○マップを活用して教材文「夏のわすれもの」を要約し，交流する。 (本時)		◎	○	◎物語の構成に即しながら，登場人物の言動や心情，出来事を表す言葉や文を活用して，教材文「夏のわすれもの」の短くまとめている。 ○指示語や接続語の役割を理解し，使っている。	ワークシート(要約文)
4 5	○紹介したい本を選び，ポップを作る。 ・紹介したい本の内容をマップに表す。 ・マップを基に要約文を書く。 ・要約文を含めたポップを作る。	○	◎	○	◎物語の構成に即しながら，登場人物の言動や心情，出来事を表す言葉や文を活用して，紹介したい本の内容を短くまとめている。 ○紹介したい本について要約することに関心を持ち，本を繰り返し読もうとしている。 ○指示語や接続語の意味を理解し，使っている。	ポップ(要約文)
6	○出来上がったポップを交流するとともに，学習を振り返る。	◎			◎書いたポップを読み合い，よい要約文について考えている。	振り返りカード

8 本時の学習

(1) 本時の目標

物語の構成に即しながら、要約文を書くことができる。

(2) 本時の評価規準

物語の構成に即しながら、登場人物の言動や心情、出来事を表す言葉や文を活用して短くまとめた要約文を書いている。【読む能力】

学習活動	指導上の留意点(・) 配慮を要する児童への支援(◆)	評価規準 (評価方法)
1 本時の学習課題を確認する。		
マップを使って「夏のわすれもの」を要約しよう。		
2 マップを基に要約する方法を確認する。	・ マップから要約文を書く過程を示す。 ・ 要約する際には、マップにある言葉や文も取捨選択する必要があることを理解させるために、マップと要約文を照らし合わせ確認させる。	
3 マップを基に、教材文「夏のわすれもの」を要約する。	・ お気に入りの本を紹介するポップを作るという目的を明確にした上で、要約文の字数は300字以上400字以内とすることを伝える。 ・ マップを書くことができるよう、ワークシートを用意する。 ◆マップに抜き出している言葉や文の中から、要約文にまとめる際必要となるものを伝える。	物語の構成に即しながら、登場人物の言動や心情，出来事を表す言葉や文を活用して短くまとめた要約文を書いている。(ワークシート)
4 要約した文章を交流する。	・ 互いの要約文を評価するシートを用意する。 ・ 物語の構成に即しながら、登場人物の言動や心情，出来事を表す言葉や文を適切に活用して要約している文章をいくつか学級全体に紹介する。	
・ △△君の要約文は、主人公まさるの気持ちがうまくまとめられているね。 ・ □□さんは、マップにある言葉を全部使って要約文にしているわ		
5 本時の学習を振り返り、次時の学習活動を知る。	・ ポップで紹介したいお気に入りの本を選んでおくよう伝える。	

